

月次改訂

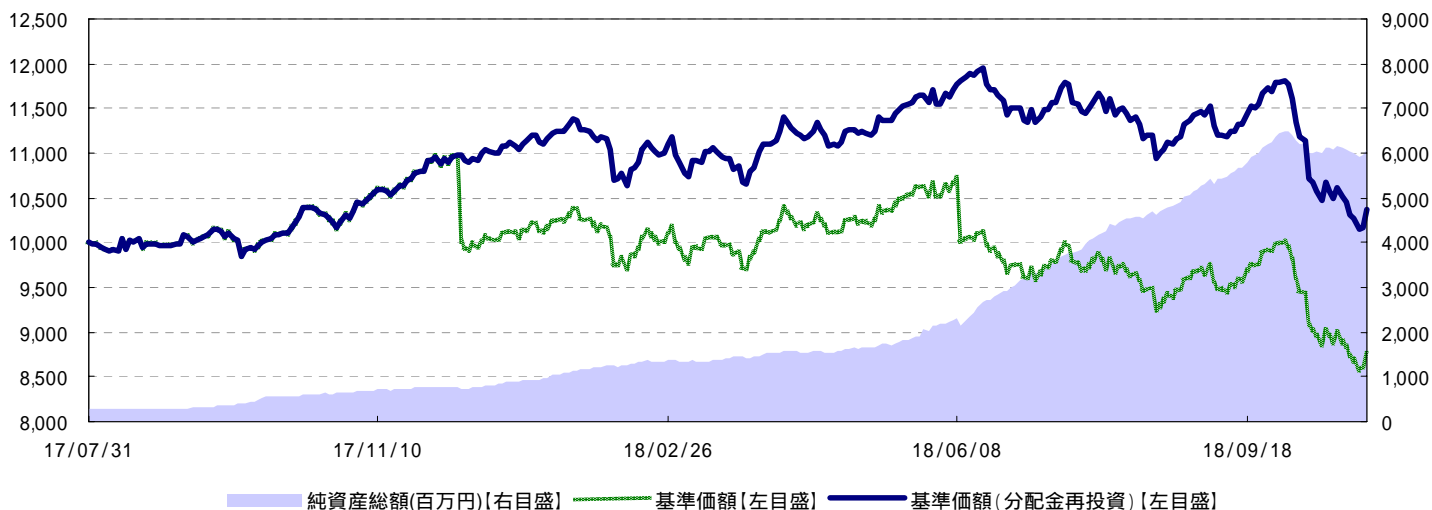
2018 / 10

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)

追加型投信/内外/株式

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/10/31	前月末	前月末比
基準価額	8,776円	9,989円	-1,213円
純資産総額(百万円)	6,077	6,367	-289

	基準価額	日付
設定来高値	10,970円	2017/12/08
設定来安値	8,586円	2018/10/29

運用資産構成

	2018/10/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	33.30%	36.48%	-3.18%
内 現物	33.30%	36.48%	-3.18%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
実質外国株式組入比率	64.49%	61.02%	3.46%
内 現物	64.49%	61.02%	3.46%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	2.21%	2.49%	-0.28%

・比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-12.14%	-9.60%	-7.73%	0.95%	-	3.67%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

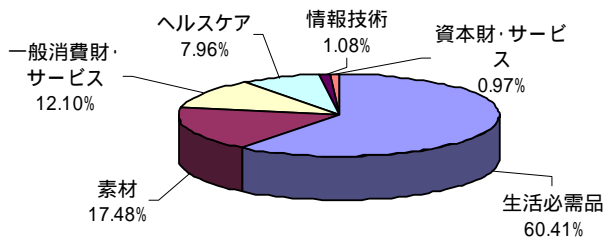
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)

分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2018/06/11	2017/12/11	-	-	-	-	
分配金	766円	973円	-	-	-	-	1,739円

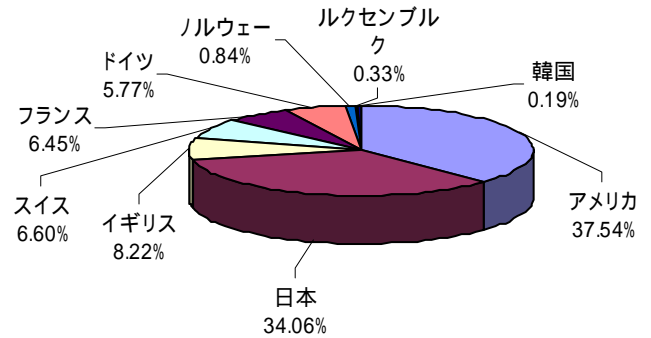
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

組入上位業種



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

組入上位国



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
・国名は投資対象銘柄の法人登録国を表しています。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 45 (国内: 14, 外国: 31))

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	資生堂	日本	生活必需品	8.18%
2	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	アメリカ	生活必需品	6.78%
3	ファンケル	日本	生活必需品	5.30%
4	コーセー	日本	生活必需品	3.96%
5	GIVAUDAN-REG	スイス	素材	3.96%
6	CRODA INTERNATIONAL PLC	イギリス	素材	3.79%
7	ULTA BEAUTY INC	アメリカ	一般消費財・サービス	3.75%
8	BEIERSDORF AG	ドイツ	生活必需品	3.67%
9	APTARGROUP INC	アメリカ	素材	3.65%
10	ALIGN TECHNOLOGY INC	アメリカ	ヘルスケア	3.04%

・比率は純資産総額に対する割合です。
・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万円当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

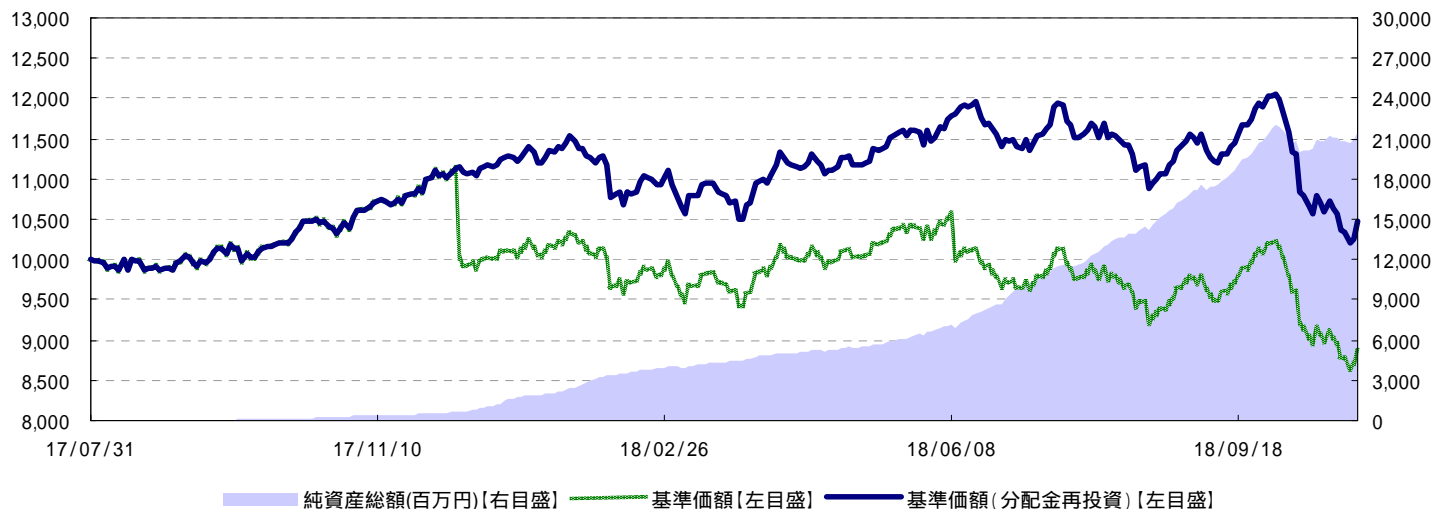
2018 / 10

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/株式

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/10/31	前月末	前月末比
基準価額	8,885円	10,194円	-1,309円
純資産総額(百万円)	21,516	21,417	+98

	基準価額	日付
設定来高値	11,125円	2017/12/08
設定来安値	8,646円	2018/10/29

運用資産構成

	2018/10/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	33.28%	36.48%	-3.20%
内 現物	33.28%	36.48%	-3.20%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
実質外国株式組入比率	64.45%	61.02%	3.43%
内 現物	64.45%	61.02%	3.43%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	2.27%	2.50%	-0.23%

・比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-12.84%	-8.98%	-6.94%	0.87%	-	4.80%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

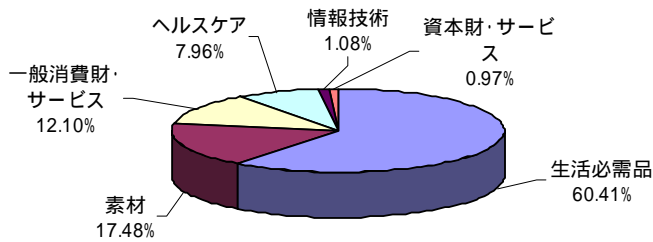
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)

分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2018/06/11	2017/12/11	-	-	-	-	
分配金	582円	1,147円	-	-	-	-	1,729円

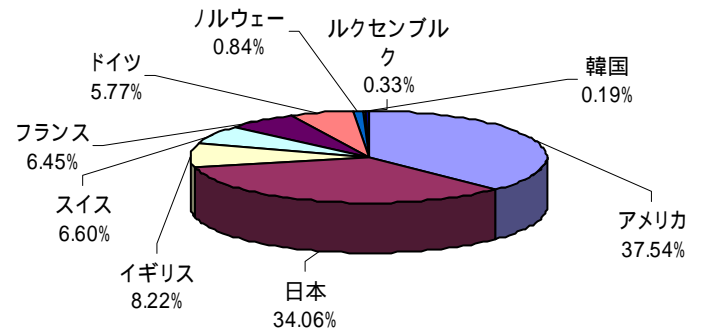
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

組入上位業種



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

組入上位国



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
・国名は投資対象銘柄の法人登録国を表しています。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 45 (国内: 14、外国: 31))

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	資生堂	日本	生活必需品	8.17%
2	ESTEE LAUDER COMPANIES - CL A	アメリカ	生活必需品	6.78%
3	ファンケル	日本	生活必需品	5.29%
4	コーセー	日本	生活必需品	3.96%
5	GIVAUDAN-REG	スイス	素材	3.95%
6	CRODA INTERNATIONAL PLC	イギリス	素材	3.78%
7	ULTA BEAUTY INC	アメリカ	一般消費財・サービス	3.74%
8	BEIERSDORF AG	ドイツ	生活必需品	3.66%
9	APTARGROUP INC	アメリカ	素材	3.65%
10	ALIGN TECHNOLOGY INC	アメリカ	ヘルスケア	3.03%

・比率は純資産総額に対する割合です。
・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

株式組入上位10銘柄紹介

	銘柄	“美”の視点	会社紹介 代表的な商品・サービスなど
1	資生堂	魅せる	化粧品・トイレットメーカー。各種メイクアップ・スキンケア製品のほか、トイレット、医薬品、食品、および精製化学製品を提供する。主なブランド: マキアージュ、クレドポー ボーテ、インテグレート
2	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A (エスティローダー)	魅せる	化粧品メーカー。スキンケア、化粧品、香水、ヘアケア製品などを製造・販売する。主なブランド: エスティローダー、M・A・C、クリニーク
3	ファンケル	磨く	男性・女性用無添加化粧品を製造および販売。シャンプー、コンディショナー、メイクアップ商品などのヘアケアおよびスキンケア製品の製造を行う。主なブランド: ファンケル、アテニア、ボウシャ
4	コーセー	魅せる	メイクアップおよびスキンケア、ヘアケア商品などの化粧品を製造・販売する。海外では香港、中国、シンガポール、マレーシアを中心に販売を行う。主なブランド: コスメデコルテ、タルト
5	GIVAUDAN-REG (ジボードン)	支える	香料メーカー。天然・人工原料の香水・香料を製造・販売する。香水、飲料、調理済食品、消費者製品のメーカーを対象に製品を販売する。世界各地で事業を展開。
6	CRODA INTERNATIONAL PLC (クロダ・インターナショナル)	支える	化学品メーカーの持株会社。オレオケミカルと工業用化学品を含む、多くの化学品製造会社に投資する。パーソナルケアや医薬品、化粧品などのメーカーに製品を供給する。
7	ULTA BEAUTY INC (アルタ・ビューティ)	支える	化粧品小売チェーン。化粧品、香水、スキンケア・ヘアケア製品、およびビューティサロンサービスを提供する。全米で事業を展開。
8	BEIERSDORF AG (バイヤスドルフ)	磨く	パーソナルケア用品メーカー。主な製品はスキンケア・ヘアケア用品、包帯、弾性ストッキング、日焼け止めローションなど。主なブランド: ニベア、Eucerin、La Prairieなど。
9	APTARGROUP INC (アプターグループ)	支える	ポンプ、注出口付き蓋ぶた、エアゾールバルブの設計、製造、販売に従事。同社の製品は、香水、化粧品、パーソナルケア、医薬品、家庭用・工業用、食品に使用される。世界各地で事業を展開。
10	ALIGN TECHNOLOGY INC (アライン・テクノロジー)	磨く	医療システム開発会社。歯科矯正装置「インビザライン・システム」の設計、製造、販売に従事。透明で取り外し可能な装置を用いて段階的に歯列を矯正。

各銘柄の“美”の視点は、三菱UFJ国際投信がビューティー・ビジネス関連企業を代表的な商品・サービスを総合的に鑑みて独自の視点で分類したもので、今後変更となる場合があります。

ファンドマネジャーコメント

市況動向【米中間の通商問題や世界経済の持続的な成長に対する懸念などにより下落】
世界の株式市況は、下落しました。米中間の通商問題がさらに深刻化すると懸念や国際通貨基金(IMF)が世界経済見通しを下方修正したことなどが下落要因となりました。また、イタリア財政の問題やトルコでのサウジアラビア人ジャーナリスト失踪問題を受けて地政学リスクが高まったことなども市況の下押し要因となりました。

運用状況【為替ヘッジあり、為替ヘッジなし、共に下落】
(1)運用成果とその要因
基準価額は、為替ヘッジあり、為替ヘッジなし、共に下落しました。為替ヘッジなしにつきましては、米ドルやユーロ、英ポンドなどが揃って円に対して下落したことが、マイナスに影響しました。
(2)売買動向
資金流入に併せて継続的に買付けを行いました。また、今後の業績成長が相対的に弱いと判断した「ゲンゼ」や「ワコールホールディングス」などの全売却を行いました。通貨別では、円の比率が低下した一方で、米ドルやスイスフランの比率が上昇しました。業種別比率は、素材が上昇した一方、生活必需品や情報技術が低下しました。

今後の運用方針【高齢化社会の進展や新興国市場の拡大など構造的な変化によって中長期的な業績成長が期待される】
ビューティー市場は、化粧品を中心に先進国の経済成長を上回る成長が見込まれる市場です。成長の源泉は、高齢化社会の進展に伴うアンチエイジング需要、新興国での所得増加による化粧品の普及など、社会構造の変化によるものです。米中間の通商問題が懸念されますが、低い原価率や高級化粧品を中心に生産における中国依存度は低いことから、相対的に影響は限定的であると考えられます。
当ファンドでは、現在、新興国市場、高価格帯商品、スキンケアの3点に着目した運用を行っております。新興国の中でも中国は、経済成長が減速しながらも中間所得層の品質や機能性に対するこだわりから高価格帯商品を中心に高成長が続いています。また、先進国においても肌質を重視するトレンドから機能性の高いスキンケア商品を中心に市場が拡大しています。日本の化粧品メーカーについては、中国元安の影響や並行輸入業者に対する中国政府の規制によってインバウンド需要の低下が懸念され、株価が軟調となる局面がありました。しかし、各社の7-9月期決算では、台風や地震などによる影響を除けば日本製の高機能化粧品に対する需要は引き続き強く、今後の業績についても前向きなコメントが出ています。そのため、訪日観光客数増加やインバウンド需要の継続的な拡大などが実績として確認されるにつれて株価も上昇基調へ戻ることが期待されます。(運用担当者:加藤)

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色1 日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を主要投資対象とします。

・当ファンドにおいて、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。

【投資における“美”の視点】

魅せる...本来の美しさをより際立たせて表現する“魅せる”という視点
(メイキャップ・フレグランスなど)

磨く...本来の美しさを維持・向上させる“磨く”という視点
(スキンケア・ヘアケア・オーラルケア・サプリメント・美容機器など)

支える...新たな美しさの研究やサービスの提供など、様々な角度から美を“支える”という視点
(研究開発・美容情報サービス・化粧品販売チェーン・医療機器・アンダーウェアなど)

特色2 株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。

・投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。

特色3 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。

・(為替ヘッジあり)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他通貨による代替ヘッジを行う場合があります。

・(為替ヘッジなし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色4 年2回の決算時(6・12月の各9日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドの仕組み

・運用はワールド・ビューティー・マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式へ投資するファミリーファンド方式により運用を行います。

各ファンド間でのスイッチングが可能です。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。

スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。

くわしくは販売会社にご確認ください。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
特定の テーマに 沿った銘柄 に投資する リスク	当ファンドは、特定のテーマ(ビューティー・ビジネス関連企業の株式)に沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べて当ファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。
為替変動 リスク	<p>ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) 組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。その場合、為替ヘッジ効果が得られない可能性や、円と当該通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。</p> <p>ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし) 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。</p>
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・ リスク	ファンドは、新興国の株式に投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペーパーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)
手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	各ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。 くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	2027年6月9日まで(2017年7月31日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6・12月の9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)
手続・手数料等
ファンドの費用
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.7712%(税抜 年率1.6400%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても各ファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 - 17:00)

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

商号 (*は取次販売会社)	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社 愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社 阿波銀行(為替ヘッジありのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社 岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第3号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社 大分銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社 沖縄銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社 関西アーバン銀行(12月3日から取扱開始)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社 きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○	
株式会社 近畿大阪銀行(12月10日から取扱開始)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社 群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社 京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社 高知銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第8号	○			
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社 島根銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社 清水銀行(11月1日から取扱開始)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社 十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社 常陽銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社 大光銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第61号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社 但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社 中京銀行(11月1日から取扱開始)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社 東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第579号	○		○	
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号	○			
株式会社 トマト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社 長崎銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第11号	○			
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社 八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	○		○	
株式会社 福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社 福島銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社 北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社 宮崎銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第5号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
株式会社 横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			
朝日信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第143号	○			
いちい信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第25号				
帯広信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第15号				
きのくに信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第51号				
呉信用金庫*	登録金融機関 中国財務局長(登金)第25号				
湖東信用金庫*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第57号				
埼玉縣信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第202号	○			
瀬戸信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第46号	○			
知多信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第48号				
東春信用金庫*(11月1日から取扱開始)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第52号				
のと共栄信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*(11月1日から取扱開始)	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第30号				
播州信用金庫*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第76号	○			
飯能信用金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第203号				
平塚信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*(11月1日から取扱開始)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第196号				
福岡ひびき信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第24号	○			
碧海信用金庫(為替ヘッジなしのみ取扱)*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第66号	○			